

厳選良問

～ 意外と間違いややすい自閉症、発達障害、ダウン症～

分野

医療・心理系分野

出典

介護福祉士試験(第30回-問題91)

====問題=====

問題 自閉症(*autism*)の特性に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 対人関係の形成に障害がある。
- 2 読む、書く、計算することが苦手である。
- 3 知的機能の発達に遅れがみられる。
- 4 集中力がない。
- 5 思考の流れに関連性や統一性がない。

=====ポイント&解答=====

資格別試験対策

社会福祉士	精神保健福祉士	介護福祉士	介護支援専門員	保育士
★	★★	★★★	×	★★★

注) ★★★…必ず学習!! ★★…できれば学習! ★…余裕があれば確認 ×…学習しなくてOK

試験対策ポイント解説

近年は、自閉症やアスペルガー症候群などについて「自閉症スペクトラム」で統一するかと思いきや、自閉症やアスペルガー症候群が個別に出題されるなど、はっきりしない感じになってきています。とりあえずは、発達障害者支援法の「発達障害」の定義が変更されない限り、自閉症やアスペルガー症候群の個別的な問題が出題されるものと捉えておきましょう。

さて、今回の問題は、自閉症のほか、発達障害、ダウン症などを一生懸命勉強している方のうち、上手に整理ができていないと、意外と困惑しそうな内容になっています。自閉症に共通してみられる特徴には、①社会性の問題、②話し言葉によるコミュニケーションの問題、③興味・関心の限定と行動のこだわりという3点があることはしっかりと覚えましょう。

「児童にみられる障害」のように一定の区分で関連して学習することは、とても効率的で良いことですが、その際に、個々の特徴の差(どこで見極めるか)ということを忘れずに取り組んでください。

解答

1

